

2024年5月30日  
エコモット株式会社  
(東証グロース/札幌アンビシャス 証券コード:3987)

## NEWS RELEASE

### エコモットがKDDI株式会社と協力し、公共トイレの利用状況可視化システムを 北海道音更町に提供、音更町より感謝状を拝受しました。

～地域のまちづくりに貢献し、持続可能な社会の実現を目指す～

エコモット株式会社（本社：北海道札幌市、代表取締役：入澤 拓也、以下「エコモット」）は、KDDI 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO:高橋 誠、以下 KDDI）と協力し、2022年3月から北海道音更町内の公共トイレ5カ所にトイレの利用状況可視化システムを提供し、2024年5月29日に音更町から感謝状を拝受しました。

<感謝状贈呈式に参加するエコモット株式会社 取締役 副社長 内藤 彰人（写真：左から3番目）>



音更町は町内の公園トイレの利用実態を大まかにしか把握できておらず、通年開放の判断や施設管理に関する優先度の判断が難しい状況にありました。この課題を解決するためにエコモットと KDDI は IoT 機器を活用した実態調査の提案をおこない、2年間の調査を経て一定の効果を得られたことが評価されました。

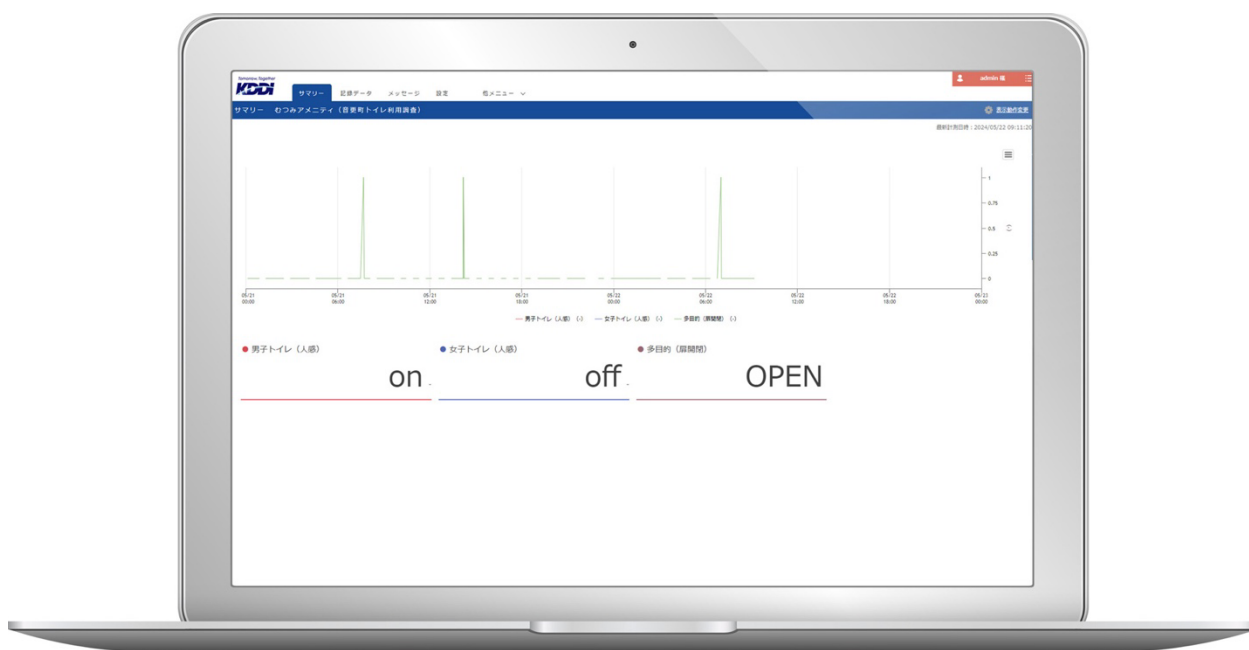
実態調査には「KDDI IoT クラウド Standard」を採用し、IoT ゲートウェイデバイスと人感検知センサーならび扉開閉センサーを各トイレに設置することで、利用回数カウントデータをクラウドサーバーに集約し、「KDDI IoT クラウド Standard」の Web アプリ上で各トイレの利用状況を可視化しました。これにより、男女トイレ別の入室回数や多目的トイレの利用回数を把握することができ、開放判断や施設管理の見直しを進めるための参考データを収集することができます。

エコモットは今後も KDDI と協力し、IoT テクノロジーによるデータ収集やリモートモニタリングを提供することで、地域のまちづくりに貢献し、持続可能な社会の実現を目指します。

## <音更町の公共トイレに扉開閉センサーを設置>



## <KDDI IoT クラウド Standard で利用状況を把握>



### ■「KDDI IoT クラウド Standard」とは

現地に設置したセンサーや、監視カメラなどの 2,000 種類以上の機器をインターネットに接続することでさまざまなデータの収集・分析が可能なサービスです。お客さまの要望に応じてカスタマイズされたオンリーワンのアプリケーションを実現する「コース」、開発不要で簡単に導入が可能な「パッケージ」の 2 種のメニューから選択が可能です。

また、大切なデータは KDDI のセキュアなネットワーク環境で通信をするため安心です。専用画面のカスタマイズや帳票形式での出力にも対応しており、お客さまの業務効率化やコスト削減・売り上げ増を支援します。

公式サイト：<https://biz.kddi.com/service/iot-cloud-standard/>

## ■エコモット株式会社について

エコモットは 2007 年の創業以来 IoT 専門のソリューションベンダーとして、センサー・自社開発通信デバイスの提供を行うとともに、多様な顧客ニーズに応じたカスタマイズ、現場での設置ノウハウを提供し、あらゆる「モノ・コト」からセンシングを可能にするソリューションを提供しています。2017 年 6 月に札幌証券取引所アンビシャス市場、2018 年 6 月に東京証券取引所マザーズへ上場。2019 年 1 月に KDDI 株式会社と資本業務提携いたしました。

所在地 : 〒060-0031 北海道札幌市中央区北 1 条東 1 丁目 2 番 5 号 カレスサップロビル 7 階

代表 : 代表取締役 入澤 拓也

設立 : 2007 年 2 月

資本金 : 6 億 1,787 万円 (2024 年 2 月末現在)

事業内容 : IoT ソリューションの企画、およびこれに付随する端末製造、通信インフラ、アプリケーション開発、並びにクラウドサービスの運用・保守に関する業務のワンストップでの提供

URL : <https://www.ecomott.co.jp/>

### 本件に関するお問い合わせ先

エコモット株式会社 マーケティング室 薄木

TEL : 011-558-2211 MAIL : [press@ecomott.co.jp](mailto:press@ecomott.co.jp)